

1. 認知症高齢者数について

(1) 認知症高齢者数の推移

①認知症高齢者数の推移



※平成25・26年は11月30日時点、平成27年以降は4月1日時点

認知症高齢者数 (※)	2017年 (H29)	2018年 (H30)	2019年 (R1)	2020年 (R2)	2021年 (R3)	2022年 (R4)
65歳以上 (日常生活自立度Ⅱ以上)	69,309人	72,166人	75,425人	77,693人	82,082人	83,599人
前年増加率	101.1%	104.1%	104.5%	103.0%	105.6%	101.8%
75歳以上 (再掲) (日常生活自立度Ⅱ以上)	61,210人	64,017人	67,179人	69,352人	72,834人	74,217人

※ ここでの「認知症高齢者」とは、「何らかの介護・支援を必要とする認知症がある高齢者」とされる「認知症高齢者の日常生活自立度Ⅱ以上の人としている

②高齢者数 (第1号被保険者数)

高齢者数 (第1号被保険者数)	2017年 (H29)	2018年 (H30)	2019年 (R1)	2020年 (R2)	2021年 (R3)	2022年 (R4)
高齢者数 (65歳以上)	680,434人	684,566人	686,968人	687,673人	686,793人	682,062人
再掲：75歳以上【A】	338,163人	347,195人	356,680人	361,314人	360,296人	364,238人
再掲：85歳以上【B】	93,334人	98,864人	103,844人	109,293人	115,736人	119,918人
【B】 / 【A】 (※)	27.6%	28.5%	29.1%	30.2%	32.1%	32.9%

※ 75歳以上の高齢者に占める85歳以上の高齢者の割合

➤ **認知症有病率が高い85歳以上の高齢者の増加が、認知症高齢者数の増加に影響していると推察できる。**

(2) 認知症高齢者の将来推計について

①数学モデルにより算出された2012年の性・年齢階級別認知症有病率

年齢階級	男性	女性
65 - 69歳	1.94%	2.42%
70 - 74歳	4.30%	5.38%
75 - 79歳	9.55%	11.95%
80 - 84歳	21.21%	26.52%
85歳以上	47.09%	58.88%

※「日本における認知症の高齢者人口の将来推計に関する研究」(平成26年度厚生労働科学研究費補助金特別研究事業 九州大学 二宮教授)による速報値



上記速報値に国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(平成30年(2018)年3月推計)」による大阪市の男女別・年齢階級別人口の将来推計をかけて、大阪市内の認知症高齢者数の将来推計を行った

②認知症高齢者の将来推計 (大阪市)

	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年
認知症有病者数	12.1万人	13.7万人	14.9万人	15.6万人	15.4万人
認知症有病率	17.1%	19.5%	20.9%	21.1%	19.5%

➤ **今後も当面の間、大阪市内における認知症高齢者数の増加が見込まれる**

(3) 所在地別の認知症高齢者等（日常生活自立度Ⅱ以上）の数

	認知症 高齢者等	認定申請時の所在（再掲）				
		在宅	特別養護 老人ホーム	介護老人 保健施設	介護療養型 医療施設	その他
総数	85,329	47,545	6,903	3,986	103	26,792
40歳～64歳	1,730	879	51	38	2	760
65歳以上	83,599	46,666	6,852	3,948	101	26,032
65～74歳	9,382	5,521	353	210	17	3,281
75歳以上	74,217	41,145	6,499	3,738	84	22,751

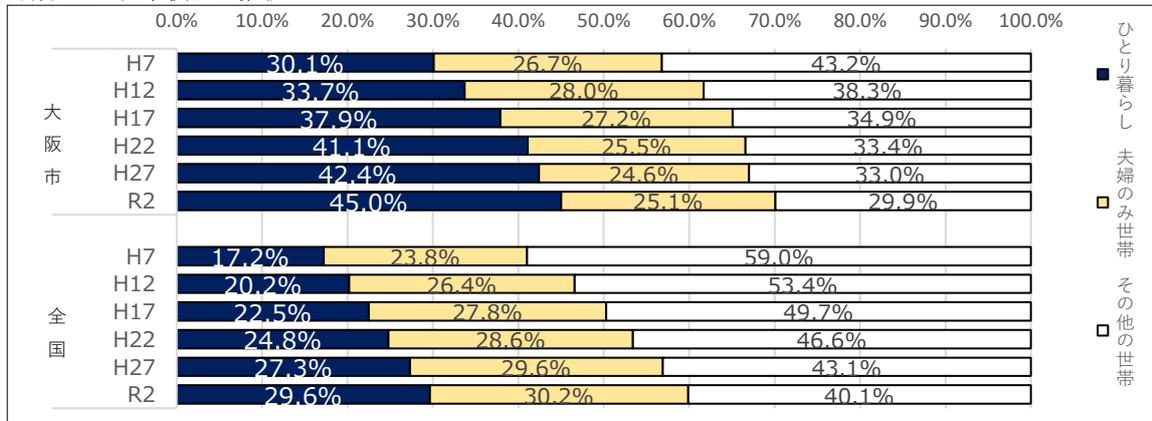
※大阪市福祉局調べ 2022年4月1日現在

※「その他の施設」は、認知症高齢者グループホーム、特定施設入居者生活介護適用施設、医療機関等

➤2022（令和4）年4月1日現在の要介護認定申請に係る認定調査において、認知症高齢者等のうち約56%の方が在宅で生活されている。

(4) 世帯の状況について

65歳以上の世帯状況の推移



➤令和2年度国勢調査によると、高齢者がいる世帯の状況として、ひとり暮らしの割合が全国に比べ高い状況となっており、今後も増加が続くと見込まれる。

2. 若年性認知症について

①大阪市における日常生活自立度Ⅱ以上の数

認知症者数	2016年 (H28)	2017年 (H29)	2018年 (H30)	2019年 (R1)	2020年 (R2)	2021年 (R3)	2022年 (R4)
40歳～64歳 (日常生活自立度Ⅱ以上)	1,539人	1,508人	1,487人	1,516人	1,519人	1,703人	1,730人

※ ここでの「若年性認知症患者数」とは、「何らかの介護・支援を必要とする認知症がある高齢者」とされる「認知症高齢者の日常生活自立度」Ⅱ以上の人としている

②若年性認知症の人の推計値（日本医療研究開発機構認知症研究開発事業「若年性認知症の有病率・生活実態把握と多角的データ共有システムの開発」（R2.3）に基づく）

	推計人口数	10万人当たり 有病率（人）	若年性認知症 (推計値・人)
40～44歳	183,541	8.3	15.2
45～49歳	212,722	17.4	37.0
50～54歳	211,591	43.2	91.4
55～59歳	177,036	110.3	195.3
60～64歳	146,828	274.9	403.6
計			742.6

※推計人口数は、令和4年4月1日時点（都市計画局調べ）

➤令和2年3月の若年性認知症実態調査結果では、18～64歳人口10万人当たりの有病率は50.9人

➤これを大阪市の40～64歳推計人口にあてはめると、742.6人となる。

※日本医療研究開発機構認知症研究開発事業「若年性認知症の有病率・生活実態把握と多角的データ共有システムの開発」（R2.3）